

脱炭素社会実現に向けた取組

宇都宮市は、令和3年7月、地域新電力会社「**宇都宮ライトパワー株式会社**」が設立されました。

◆事業イメージ



「宇都宮ライトパワー株式会社」においては、クリーンパーク茂原におけるバイオマス発電などの電力を調達し、令和4年1月から市有施設等に供給を開始しました。令和5年3月には、世界に類をみない取組として、**LRTの運行を地域内で生産した再生可能エネルギー(※1)のみで実現**するなど、再生可能エネルギーの地産地消を図っていきます。

※1 再生可能エネルギー
太陽光や風、バイオマス燃料などをエネルギー源とするエネルギー。

宇都宮市は、令和元年7月に内閣府より、**SDGs未来都市**に選定されたよ！

楽しい!おいしい!うつのみや

食べて・飲んで・聴いて うつのみやの3自慢!!

「餃子のまち」

宇都宮市には、餃子を提供しているお店が300店舗以上あり、そのうち約90店舗が協同組合宇都宮餃子会に加盟しています。宮ついでに数回餃子を食べるのがスタンダードで、総務省の家計調査でも、1世帯当たり1年の年間購入額が2010年まで15年連続、2013年、2017年、2019年にも日本一になるなど、今も昔も、宇都宮市民から愛されています。

毎年11月の第1土日には、宇都宮餃子ファンへの感謝を込めて、「宇都宮餃子祭り」を開催しており、毎年多くの来場者でにぎわっています。宇都宮餃子会が運営する「来らせ 本店」では、約30店舗以上の餃子が日替わりで味わえます。焼、湯、水などの種類だけでなく、店舗ごとに皮や餡などが異なるため、店主こだわりの餃子を食べ歩いて、自分好みの餃子を見つけてみてくださいね!

詳細は協同組合宇都宮餃子会: <https://www.gyozakai.com/>

「カクテルのまち」

バーテンダーの全国大会で優勝者を数多く輩出するなど、宇都宮市には国内屈指の実力派バーテンダーたちが揃い、宇都宮でしか味わうことのできない色・味・香りをお届けしています。カクテルをこよなく愛する人々が集う大人の空間で、おしゃべりな時間を過ごしましょう!

詳細は宇都宮カクテル倶楽部: <https://www.uclub.net/>

「ジャズのまち」

世界的なアルトサクソフ奏者、渡辺貞夫さんを筆頭に、数多くのジャズプレイヤーを輩出している宇都宮市では、市内のライブハウスで定期的にジャズライブが開催される等、日常的にジャズを感じることが出来ます。情熱的な生演奏を、心ゆくまで体感しましょう!

詳細は宇都宮ジャズ協会: <https://www.ujazz.net>

プロスポーツのまち うつのみや

宇都宮市は、大規模な国際的なスポーツイベントの開催や宇都宮市をホームタウンとする3つのプロスポーツチームの活躍など、プロスポーツの魅力溢れるまちです。

ジャパンカップサイクルードレース

自転車のまちを代表するジャパンカップは毎年10月に開催されるアジア最高位の自転車ワールドロードレースです。世界トップクラスのプロ選手による真剣勝負を間近で観戦でき、毎年13万人以上が全国から観戦に訪れます。

FIBA 3x3 ワールドツアー

「FIBA 3x3 (スリーエックススリー) ワールドツアー」は、3人制バスケットボールのクラブチーム世界一を決めるツアーです。2022年からは、ツアー開幕戦を「うつのみやオープン」して開催します。

栃木SC(サッカー)

プロサッカーリーグのJリーグ(J2)に参戦し、チーム創設当初からの目標である「J1昇格」を目指して戦っています。宇都宮市出身の選手も活躍しています!

宇都宮ブレックス(バスケットボール)

バスケットボールのトップリーグB1リーグに参戦しています。2017年にはB1リーグ初代王者に輝きました。ブレックスアリーナ宇都宮でのファンの熱狂的な応援もリーグ随一です。

宇都宮ブリツェン(自転車ロードレース)

国内初の地域密着型の自転車プロロードレースチームで、国内プロサイクリングJCL(ジャパンサイクリング)に参戦しています。2021年にはJCL初代王者に輝きました。

「大谷石文化」が日本遺産に認定



市の北西部に位置する「石の里大谷」。そこで採掘される大谷石は、古くから蔵や塀などの石材として使用され、現在でもその石の持つ温かみから、おしゃれなお店の壁材やパーカフェなどで提供されるコースターなど、様々な用途で使用されています。こうした、大谷石との関わりの中で築いてきた宇都宮独自の「大谷石文化」が、平成30年に「日本遺産」として認定されました。

うつのみやの自慢

平成24年から令和3年までの家計調査結果において、10年間の平均購入額【消費額】が**11位**を獲得した主なもの

いちご	ぎょうざ	せんべい
プリン	茶飲料	だいこん

出典：総務省家計調査 (2012年～2021年、二人以上世帯)

農業王国うつのみや

うつのみやの農産物

宇都宮では、平坦で肥沃な農地、豊富な水資源、長い日照時間など、農業に恵まれた環境のもと、お米を中心にトマトや梨、いちごなど、様々な農産物が生産されています。

米

出荷量 31,719t 生産額 4,049百万円 ※1

市内耕地面積のうち約8割が水田で、コシヒカリを中心に盛んに生産されており、宇都宮大学が育成した「ゆうだい21」など、特徴あるお米も生産されています。お米の消費拡大や食育のため、1歳6か月のお子様や小中学校1年生がいる家庭に宇都宮産米を配付する独自事業を実施しています。

トマト

出荷量 3,647t 生産額 977百万円 ※2

宇都宮のトマトは甘さと酸味のバランスが良いのが特徴です。県内作付面積は1位(※6)で、ビニールハウスを活用して1年を通して栽培されています。

梨

出荷量 1,883t 生産額 807百万円 ※3

県内作付面積1位(※6)を誇り、生産、販売ともに全国トップクラスを誇ります。宇都宮では、幸水、豊水、にっこりなど様々な品種が栽培されており、7月～11月にかけて出荷されます。

いちご

出荷量 3,130t 生産額 3,565百万円 ※4

「とちおとめ」を主力に生産が行われ、大粒の「スイベリ」や新品種の「とちあいか」、夏から秋に採れる「なつおとめ」が生産されています。また、「大谷石」の採石場跡地に溜まる水の冷熱を利用して生産された夏いちご「なつおとめ」を「大谷夏いちご」として販売しています。

宇都宮牛

出荷頭数 656頭 生産額 740百万円 ※5

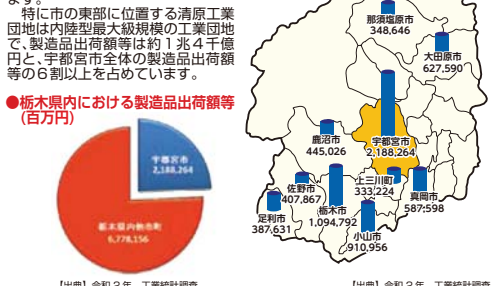
JAうつのみや管内で肥育された黒毛和種で、日本食肉格付協会の格付で肉質等級3・4・5等級のもの。どの部位も非常に良質で、脂に上品な甘みがあるのが特徴です。

※1～5については、出荷量、生産額などのデータはJAうつのみや管内のもので、原則1年間の集計ですが、農産物により集計期間が異なります。
※6 2020年度農林業センサス

もの造りのまち うつのみや

もの造りの拠点都市

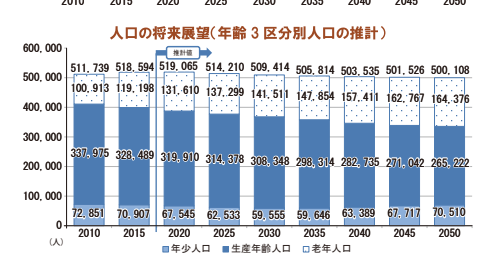
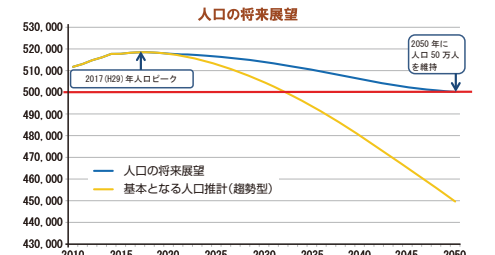
宇都宮市は首都圏に近い立地や発達した交通網、恵まれた自然環境を背景に世界的企業が多数進出しています。特に市の東部に位置する清原工業団地は内陸型最大規模の工業団地で、製造品出荷額等は約1兆4千億円と、宇都宮市全体の製造品出荷額等の6割以上を占めています。



うつのみやの人口

2050年において人口50万人を維持

本市の総人口は、2017年(平成29年)をピークに人口減少に転じています。人口減少の主な要因は出生数の減少と、東京圏への転入数が転出数を上回ったことなど、本市将来人口推計によると、2050年には約45万人になるものと推測されます。こうした現状を踏まえ、本市では、市民の希望する水準まで合計特殊出生率を向上させる取り組みや東京圏からの転入者の増加および転出者の抑制を図ることなど、2050年においても人口50万人を維持する将来展望を描いています。



2022年 国体・障スポ開催!

第77回国民体育大会 第22回全国障害者スポーツ大会

いちご一会とちぎ国体 いちご一会とちぎ大会

2022 10/1(土)・10/11(火) 2022 10/29(土)・10/31(月)

開催期間 9/10(土)～9/19(日)

今年10月、いよいよ「いちご一会とちぎ国体(第77回国民体育大会)」と「いちご一会とちぎ大会(第22回全国障害者スポーツ大会)」が開催されます。

栃木での国体開催は「栃の国体」以来42年ぶり、全国障害者スポーツ大会は初めての開催となります。全国から多くの方が集まる両大会を、「オール宇都宮」で盛り上げましょう!

国内最大のスポーツの祭典

各都道府県が、天皇杯と皇后杯の獲得を目指して、熱い戦いを繰り広げます。県内各地で正式競技と特別競技を合わせて39競技が開催され、市内では正式・特別合わせて14競技、テニス3競技が開催されます。

「障害者スポーツ大会」では、種別ごとに優勝を目指して、市内では個人2競技、団体3競技・オープン競技1競技が開催されます。

心のこもったおもてなしで、心に残る大会に!

市実行委員会では、花いっぱい運動やクリーンアップ運動など、様々な市民運動を展開しています。 皆様の積極的な協力をお願いします!

大会運営	広報	環境美化
競技会場での案内やおもてなし	イベントでの広報活動	花いっぱい・クリーンアップ活動

両大会についての詳しい情報は、市実行委員会ホームページをご覧ください★